

いあいせし

富士河口湖町長職務執行者

小林 禮司



平成15年11月15日に誕生しました富士河口湖町は、皆様ご存知のとおり、旧河口湖町・旧勝山村・旧足和田村の三町村が合併し、名前も富士河口湖町として、新たに町制を施行することとなったものであります。

近年、地方分権一括法の施行に伴い、地方分権型社会の構築が推し進められ、市町村が自らの責任と判断で処理する事務処理が増加し、一方では税収の減少と地方交付税の削減等により、小さな自治体では人的・財政的にも対処していくことが困難になり、行財政の合理化・効率化を図り、財政

基盤の強化を図っていくことが急務となっております。

こうした中、上九一色村の住民グループから、河口湖町への合併協議会設置の請求が発端となり、14年3月に「任意合併推進協議会」が設立され、新町における将来構想等を協議するため協議会や幹事会、また実務面での整合を図るための各種部会や分科会を繰り返してまいりました。そして平成14年6月26日に「河口湖町・勝山村・足和田村・上九一色村法定合併協議会」が設置され、その後も新町の名称や町章の選定、また各方面における更に詳細な協議を積み重ね、ようやく平成15年8月1日に総務大臣による三町村の廃置分合が告示されました。そして平成15年11月15日、ようやく富士河口湖町がこの新しく建設された庁舎とともに誕生したのであります。

新しい富士河口湖町は、総面積が93.3平方キロメートル、人口も11月15日現在の数で23,759人、世帯数が7,595世帯となり、行政区域も大きく拡がります。さらに今後は上九一色村の精進・本栖・富士ヶ嶺地区も合併する予定であり、その際には4つの湖を持つという、全国的にも稀有な自然環境を有する大きな自治体となります。

今後は、合併した本来の目的を見失うことなく、行財政運営の効率化や基盤強化を積極的に推し進め、新しいこの町で基礎的自治体としての体力増強を図りながら、より広域的な観点から富士北麓地域の活性化を図れるよう町政を推進していきたいと思えます。また住民サービスや利便性が低下することの無いよう充分考慮し、町民の皆様とともに協働しあいながら、豊かで潤いがあり次世代に明るい希望をつなげられる、素晴らしい町づくりの具現化に努力してまいります。

今この繁栄を次世代に繋げ、次代への躍進を期するため、今まで以上に町民の皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

紹介します！

勝山ふれあいセンター

「勝山ふれあいセンター」は、勝山地区の皆さんの暮らしの窓口となる出張所の機能に加え、文化・教育・趣味・研修・福祉・交流・娯楽など、あらゆる分野に渡って利用していただける多目的な機能を持つ施設です。

「さくやホール」と名づけ最大500席を有するロール・バック式の大ホール、3つの研修室や調理実習室、茶室。伝統工芸室や創作室などの幅広い社会教育活動ができる部屋。

お風呂や和室、大広間などの高齢者の皆さんにゆったりとくつろいでいただけるスペース。

更に、児童館や図書コーナー、パソコンや視聴覚視聴のできる情報ラウンジなども備えられ、老若男女の皆さんがこぞって利用できるような施設を備えています。

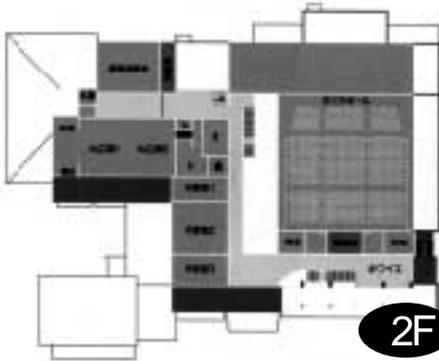
町内の方でしたらどなたでも利用できますので、気軽にご利用ください。そして、足を運んでください。



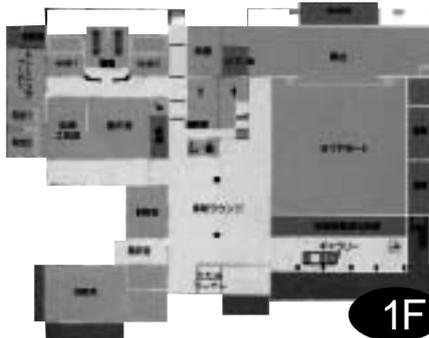
最大500席収容できる「さくやホール」



ロールバックで収納すると広いフロアに



2F



1F



情報ラウンジと
図書コーナー



明るくなった出張所窓口

富士河口湖町 役場職員紹介

富士河口湖町が11月15日に誕生し、新しい庁舎をはじめそれぞれの施設で、職員一同町民サービスののために働かさせていただきます。

よろしくお願ひします。

町長職務執行者 小林禮司
特別管理監 坂本寛

総務課

課長 堀内一夫
総務係 大石秀隆 小佐野之婦子 渡辺大輔
松井清利 川野美由紀 古屋和雄
職員係 中村守 羽田牧子
財政係 五味菊広 山中一敏 土屋昇
秘書係 渡辺幹雄 渡辺恵 三島政臣
渡辺富美男

管理課

課長 外川勇
管財係 赤池和文 外川豪
地域係 相沢一憲
防災係 駒谷雄二 小佐野才史 渡辺悦示
小立簡易郵便局 渡辺優
小立区画整理組合設立準備会 堀内剛気
河口出張所 林宏 中村正子

大石出張所 田村恵美子 堀内みどり

勝山出張所

所長 流石高二
小林俊人 岡村等
勝山ふれあいセンター 小佐野美代子 倉沢信江

足和田出張所

所長 渡辺保一
古谷梅子 常盤喜予子
大嵐出張所 三浦育子 三浦めぐみ

企画課

課長 渡辺和昭
企画調整係 古屋立夫 渡辺浩基
地域情報係 中村孝一 渡辺光夫
電算係 森沢和知 渡辺田津子
情報推進係 梶原浄 小佐野一磨

まちづくり推進室

室長 外川信夫
参与 相沢正範 倉沢和彦 渡辺大介

税務課

課長 梶原継雄 課長補佐 早川義満
資産税第一 堀内正志 古屋昌浩
資産税第二 三浦孝平 小佐野健二 倉沢准也
住民税 渡辺喜正 渡辺真由美 赤池道済
渡辺まり子

収納第一 古屋良夫 林定彦
収納第二 外川誠 井出新二

総合窓口課

課長 梶原和幸
指導監 渡辺幸子
総合窓口係 外川裕美 中島姫子 渡辺和美
北野幸江 五味裕子 古屋ちとせ
児童手当・年金係 在原仁子 貞岡直美
住民センター係 斉藤芳子

保険課

課長 渡辺晴夫 課長補佐 小林次仁
国保・老人保健係 渡辺純子 小林雅俊
梶原かね子 古谷美和子 中村節子
川村希美子 道本恵美子

介護保険係 渡辺節男 渡辺勝美 萱沼千鶴子
在原世

健康増進課

課長 倉沢幸一
指導監 堀内和美
健康増進係 外川澄江 渡辺優子 梶原真由美
広瀬佳子 渡辺富美 菊島志保 刑部佳子
高山美恵 渡辺公江
健康プラザ 中村英一 渡辺武夫
在宅介護係 土屋れい子 小島里恵 宮下美恵子

福祉推進課

課長 梶原久和枝
社会福祉係 小佐野洋五 三浦千雪 古屋春美
児童福祉係 松浦信幸 佐野としみ
小立福祉センター 大石清美

船津保育所

所長 宮下七子
宮下五月 高山美千代 渡辺静子 梶原勝美
高野由紀子 小佐野きよみ 山中昭美
吉元美香 相沢真由美 梶原真由子 梶原瞳
梶原久美子 小林佳津江 米山真紀子
堀内孝子 堀内美来 外川美智子 古屋洋子
渡辺孝子 貴家幸枝 外川章子

こもも保育所

所長 倉沢邦子
羽田国子 渡辺まつよ 滝口裕子 渡辺圭子
高村孝子 加藤文香 梶原恒美 渡辺恵理
市来絵奈 松井美子 杉本奈緒 梶原節子
小山田良子 渡辺道代 宮下恵 鳥居恵

梶原一美 渡辺スミ子 田中一美

小立保育所 所長 宮下ひろみ

外川恭子 小林光世 三浦滝美 古屋京子

中村美代子 窪田栄子 外川陽子 小佐野めぐみ

渡辺華奈子 手澤由佳 宮下美沙恵

流石ちあき 桑原公子 梶原たつ子 白鳥牧恵

大石保育所 所長 渡辺恭子

井出愛子 渡辺真里 石津要子 堀内いく美

久保田さゆり 堀内りつ子

河口保育所 所長 大石明美

流石たか江 中村恵子 梶原恵 堀内留美

真田松代 井出恵 三浦智奈美 堀内治代

勝山保育所 所長 梶原美好

渡辺かな江 大石和美 小林よし美

小佐野圭子 三浦克子 大石まゆみ 渡辺千尋

小佐野芳保 渡辺久美子 在原幸子

足和田保育所 所長 三浦登美

三浦千恵 三浦満枝 宮下久枝 三浦ひろみ

渡辺京子 三浦正江

環境課 課長 渡辺喜久男

生活環境係 渡辺学 三浦浩 梶原國雄

環境整備係 渡辺澄男 高橋幹雄

資源保全係 小林賢治 外川正和 中田昇

長山晶紀

清掃事業所 所長 梶原一郎

渡辺正 天野明朝 堀内久雄 渡辺晴男

リサイクルセンター 高部光治 松井好男

農林課 課長 外川建志

農政係 古屋和雄 松本光巧 遠藤久

振興係 三浦信久 渡辺照江

地籍調査係 渡辺重二 鎌倉修

農業委員会 事務局長 古屋和雄(兼)

観光課 課長 渡辺武博

観光係 古屋広明 堀内進 久保拓夫

商工係 堀内淳 三浦晋作

建設課 課長 渡辺顕夫

建設係 本庄久 宮下正博

用地係 流石文 朝比奈伸次

都市計画係 外川亮介 山中寛之

公園管理係 梶原晃吉

水道課 課長 小佐野文雄 技監 渡辺喜久男

上水道係 外川金雄 小林徹 白壁孝司

下水道施設係 渡辺善佐久 流石国男

下水道施設係 相沢幸治 渡辺尚樹 大草章子

下水道業務係 渡辺勝保 外川博章

下水道業務係 流石速人

収入役室 出納係 渡辺智子 三浦ます子 小佐野明美

議会議務局 局長 渡辺辰美

宮下秀明 小池智恵子

学校教育課 課長 小佐野福松

指導監 渡辺靖夫

学校教育係 中村拓郎 半田一幸

学校施設係 三浦邦武 倉沢美由紀

北出学 校 三浦さと子 堀内仁志 堀内小春

船津小学校 相沢ます美 土屋宣子 相沢絹子

渡辺梅代 山中由美子 寄夕力子

井出淳子 小林智子

小立小学校 梶原きよ美 宮下千春 古屋咲子

渡辺宮子 勝俣ゆき子 中野由美子

大石小学校 真田晴乃 伊藤麻理 遠山京子

河口小学校 白石スミ子

勝山小学校 堀内忠美 小林房子

北岸給食センター 長山史江 梶原金子

堀内一美

勝山給食センター 小佐野佐代子 古屋加奈

小佐野千佐子

足和田給食センター 朝比奈時子 三浦洋子

三浦登美子

生涯学習課 課長 坂本龍次

社会教育係 渡辺洋文 流石良一

青少年教育係 渡辺昭一 郷田よしみ

社会体育係 清水勝也 堀内拓 清水一彦

土屋ひとみ 小澤幸治

男女共生国際係 日原和美 大塩絵里子

図書館 持田利雄 五味和代 深沢和美

中央公民館 阪野忠代

文化振興局 局長 塚田兼二

文化振興係 三浦吉彦 野沢藤司 鷹取宏

渡辺理恵

派遣職員

富士河口湖ふるさと振興財団 課長 堀内昭登

富士五湖広域行政事務組合 課長補佐 三浦茂

シルバー人材センター 流石一芳

山梨県土木部都市計画課 佐野哲也

新町の正副議長決まる！

新町合併後の初議会が11月26日から始まり、新町初代の議長・副議長さんが決まりましたので紹介します。

議長 三浦隆一郎 氏

(長浜)



副議長 望月 幸子 氏

(小立)



富士河口湖町 民生委員児童委員協議会設立

11月21日、勝山ふれあいセンターにおいて富士河口湖町民生委員児童委員協議会が設立されました。民生委員は旧河口湖町40名、旧勝山村6名、旧足和田村9名、主任児童委員は旧河口湖町

3名、旧勝山村1名、旧足和田村1名の合計60名で組織され、職務執行者から県知事の委嘱状が全員に伝達交付され、設立までの経過報告が事務局から報告されました。新役員及び各担当地区の委員さんは次のとおりです。

会長

渡辺 富夫

副会長

中村 繁光 (船津地区会長)

相沢 幸一 (小立地区会長)

堀内 勉侑 (大石地区会長)

小河原彦一 (河口地区会長)

流石喜久男 (勝山地区会長)

朝比奈国博 (足和田地区会長)

民生委員 (任期 平成16年11月30日)

船津地区 22名

渡辺 勝 (浜町、揚町、大池)

梶原智恵子 (上町、若松町)

松浦 義郎 (松場町一、二丁目)

渡辺 米雄・宇野みつ子 (湖南町一、二、三丁目)

中村 政代 (七軒町一、二丁目)

福島 京子 (七軒町三丁目)

大石 信子 (七軒町四丁目)

古屋 米子・三浦政雄 (南谷一、二丁目警察官待機宿舎)

佐野 近江 (富士見一丁目、市道町、七軒町中)

堀内 節子・外川 伸 (富士見町二、三丁目)

和光 末吉 (上の段上)

外川すぎ江 (上の段中)

渡辺 富夫 (上の段下、大久保)

中村繁光・山口静枝・荒井房枝 (町営住宅、県営住宅、高尾南町、高尾町)

井出 晴子 (河口湖通一、二丁目)

古賀 秀秋 (本町一、二丁目、宮森)

小田 恵一 (浅川)

小立地区 10名

小池 益美・小林 廣志・小池 光子 (乳ヶ崎)

古屋 和彦・古屋 良雄・北村かや子 (林)

渡辺 美代 (久保)

渡辺 凱保・渡辺 正子 (八丁屋)

相沢 幸一 (西)

大石地区 4名

堀内 勉侑 (中村、上手)

堀内三千馬 (中沢、後藤)

渡辺千賀子 (下条)

堀内多喜子 (東村、湯口、ペンション村)

河口地区 4名

小河原彦一 (第一自治会)

外川 貞治 (第二自治会)

三浦佐恵子 (第三、第四自治会)

長岡 千波 (第五、第六自治会)

勝山地区 7名

小佐野勝郎・小佐野八重野 (第1区)

小佐野一久・小林 君枝 (第2区)

流石喜久男・堀内智恵子 (第3区)

長浜地区 3名

三浦 洋子・三浦 節子・宮下 薫 (長浜地区)

西湖地区 3名

朝比奈芳子・朝比奈国博・渡辺美恵子 (西湖地区)

根場地区 1名

渡辺 日出代 (根場地区)

大嵐地区 2名

三浦可祝・朝比奈利文 (大嵐地区)

主任児童委員 5名

渡辺千代美 (船津)

渡辺 早苗 (小立)

高橋 延尚 (大石、河口)

流石 治子 (勝山)

渡辺 勝子 (長浜、西湖、根場、大嵐)

テレビ版「こうほう富士河口湖」が 勝山地区・足和田地区でも見れます。

旧河口湖町では、役場からのお知らせや地域での情報などを町民の皆さんにお知らせする手段として、広報紙に加え、加入率が85%を超えている河口湖CATVを利用して 週間に 体の行政番組を制作してきました。新町になっても引き続き河口湖CATVを利用して放映していきませんが、勝山・足和田地区の方には、河口湖CATVをみる事ができません。そこで、「北富士有線テレビ放送」のご協力をいただき週 2回の放映を行います。また、勝山・足和田各出張所にビデオテープを届けますので出張所で見れますのでご利用下さい。

河口湖CATVでの放映日程

毎日曜日～木曜日、1日 8回

午前 6時 15分～ 6時 45分
 午前 7時 15分～ 7時 45分
 午前 8時 15分～ 8時 45分
 午前 9時 15分～ 9時 45分
 午後 5時 15分～ 5時 45分
 午後 6時 15分～ 6時 45分
 午後 7時 15分～ 7時 45分
 午後 11時 15分～ 11時 45分

勝山・足和田地区で 「北富士有線テレビ放送」に 加入されている方

毎月曜日と木曜日

午後 7時から始まる番組の中で
放映されます。放映時間は、
その番組の中でお知らせします
ので、ご覧下さい。

勝山・足和田地区で 「北富士有線テレビ放送」が 見れない方

勝山・足和田の各出張所のテレビ
で見ることができますので、見
たい方は出張所の窓口に申し出
下さい。

勝山出張所： 階情報ラウンジのテレビで
見れます。
足和田出張所： 階ロビーのテレビで見れます。

新しい防災無線が整備されました。

老朽に伴い住民の皆様にご迷惑をおかけしておりました防災行政無線の更新工事が今年度より始まり、新庁舎からの放送が可能となりました。また、併せて旧勝山村及び旧足和田村にも新庁舎から一斉放送ができるようシステムを導入し12月より放送を開始しております。



今後は屋外にある子局の改修及び各世帯へ戸別受信機の設置などを行い、今まで以上に町民の皆様にご迷惑をおかけしてはならないようにシステムを構築していく考えですので、今しばらくご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願ひします。



「年末の交通事故防止県民運動」

平成15年12月1日(月)～

12月31日(水)まで

運動の重点目標

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 早めのライト点灯の徹底
- 3 シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
- 4 飲酒運転の絶滅
- 5 若者による無謀運転及び暴走族の追放

年末は、交通量の増加に伴い道路が混雑するだけでなく、心理的な慌しさに加えて交通事故が多発する傾向にあります。また、飲酒の機会も多くなります。飲酒運転は絶対にしないで下さい。



旧河口湖町の平成15年度の
教育功労者・文化功労者を
紹介します。

去る11月3日、第46回河口湖町文化祭において、長年教育活動に尽力された方や文化振興に貢献された方々等の功労者表彰が行われました。受賞された方々を紹介いたします。

(敬称略)



【町教育功労者】

中村 忠次

昭和2年8月5日生 76才
富士河口湖町河口1111番地

昭和20年河口国民学校を皮切りに、

昭和62年小立小学校を退職されるまで、42年の永きにわたり、町内の小学校を中心に勤務され、学校教育の向上に尽力された。退職後は、平成6年1月より河口湖町教育委員として9年5ヶ月間勤められ、本町の教育文化の向上に貢献された。また、人権擁護委員、町消防団長、民生委員推せん会委員、地区公民館長などを歴任され地域のために貢献された功績は多大である。

渡辺 昇

昭和7年5月10日生 71才
富士河口湖町船津3192番地1

平成2年4月より平成6年3月までの4年間、町教育委員として教育文化の向上に尽力された。また、船津総合開発委員会委員、町観光連盟役員、選挙管理委員を歴任。現在も福祉委員として福祉の向上に尽力されている。

堀内 武光

昭和6年11月11日生 71才
富士河口湖町大石328番地1

船津小学校を皮切りに、山中小学校を退職されるまで41年の永きにわたり、町内の小学校を中心に勤務され、学校教育の向上に尽力された。退職後は、地区公民館長、区長、公

民館運営審議会委員、国際交流会役員、また現在は、選挙管理委員としても活躍されている。町政並びに教育文化の振興に貢献された功績は多大である。

長岡 新一

昭和6年5月27日生 72才
富士河口湖町河口1980番地4

平成10年より4年間、河口地区公民館長として活躍された。また、町文化協会の副会長として、とくに30周年記念誌の発行に尽力された。また、河口財産区管理委員を歴任されるなど、町政並びに教育文化の振興に貢献された功績は多大である。

倉澤 節子

昭和4年4月29日生 74才
富士河口湖町小立1845番地

勝山青年学校を皮切りに、大石小学校を退職されるまでの39年の永きにわたり、町内の小学校を中心に勤務され、学校教育の向上に尽力された。退職後は、小立婦人会長、美術館協力員役員、町政オピニオンリーダーを歴任されるなど、町政振興に貢献した。また、平成5年より母子相談員としても貢献している。

【町文化功労賞】

久武 章宏

(河口 大正14年1月2日生)

久武氏は昭和55年に東京から河口湖町に移住し、地域の子どもたちが音楽文化に触れ合う機会を作るため、河口湖円形ホール(建物、土地一式)を建設し、町に寄贈。そのホールはピアノ教室に通う子どもたちが日頃の成果を発表するなど、音楽教育の重要な拠点施設となっている。また、年間数多くの国内外トップアーティストの演奏会を開催、最高質の音楽芸術に触れ合う機会を作り上げている。当町からの音楽文化の発信に中核的な役割を担っているとともに、将来にわたる音楽を通じた人づくりにも大きな貢献をしている。

篠原 次江

(船津 昭和11年8月10日生)

地元女声合唱団「コーロ河口湖」の常任会長として地域の文化向上に貢献。1999年より献身的な姿勢で河口湖の名前を全国に広めている。平素の活動では、「河口湖ハーブフェスティバル」カルチャースクール部門のインストラクターとして団員を良くまとめ、期間中自らも多数の日程を担当として勤務、合唱活動とはまた異なった側面から河口湖町の町政、文化向上のために協力している。

【賞 賞】

個人

古屋 まつ子

(河口 大正11年10月10日生)

一坪図書館移管事業により、昭和53年に西原一坪図書館として町から移管された。初代一坪館長として25年間にわたり、河口地区住民の読書推進活動の担い手として地域の子どもたちへの読書活動を支え続けてきた。また、山梨県社会教育放送研究会の理事を長年務め、文化向上のために尽力した。

外川 艶子

(浅川 昭和2年6月30日生)

一坪図書館移管事業により、昭和51年に浅富士一坪図書館として町から移管された。その後一坪館長として27年間にわたり、浅川地区住民の読書推進活動の一翼を担いながら、今日に至っている。現在も公共図書館に遠い地域の子どもの読書活動を支え続けている。また、河口湖町ユネスコ協会副会長として活躍している。

梶原 すま子

(河口 大正13年11月9日生)

昭和40年代には河口湖町観光課とともに毎年観光キャンペーンに同行

し、舞踊のボランティアとして協力してきた。また当時、民踊舞踊で山梨県で何度も優勝し、毎年のように全国大会に出場。華々しい成果をあげている。最近は何年間を通してボランティア活動、文化祭、敬老会、公民館祭り、勉強会、発表会と活躍している。

団体

詩吟部

河口湖町文化協会に所属する詩吟部は、現在岳誠流、錦風流、富士洋和会、富士英岳会、富岳会が連合し河口湖詩吟部を結成している。各流派の人は吟道精神のもとに社会浄化を計り、文化祭には多くの会員が協力、参加している。またそれぞれのグループにおいても地域へ、吟道の普及に努めるとともに、会員相互の親睦とレベルの向上を図っている。現在約50名の会員を有する。

第46回文化祭・

出展作品入選者

文化祭賞 賞 渡辺 永子(小立)
町長賞 賞 渡辺たき子(小立)
議長賞 賞 渡辺まつよ(船津)
教育委員長賞 賞 井出 節子(船津)

教育長賞 大石 絹代(小立)
中央公民館長賞

奨励賞 小林 宏州(富士吉田)
小河原静江 小山田和子
大田原和子 三枝きみ子
中村 義朗 小林 悦子
勝俣 庄才 幸 利之
石川 利郎 武井 文夫
森 喜恵子 渡辺 巴
小林 妙子

絵画の部(園児・児童・生徒)

文化祭賞 梶原 修作(大石小)
町長賞 渡辺 伊織(小立小)
議長賞 相澤 菜々(小立保育所)
教育委員長賞 関 峰志
(富士モンテッソーリスクール)
教育長賞 堀内 慎弥(北中)
中央公民館長賞

優賞 遠山 颯太(船津小)
賞 小林まほろ(小立小)
渡辺 佳紀(湖南中)
田村 勝平(河口小)
土屋 夏彦(大石保育所)

書道の部(園児・児童・生徒)

文化祭賞 梶原 彩(船津小)
町長賞 中村 美玖(北中)
議長賞 古屋 佳帆(小立小)
教育委員長賞 梶原 拓也(湖南中)
教育長賞 徳山 優花(大石小)
中央公民館長賞
林 君歌(河口小)

優賞 渡辺 華乃(小立小)
賞 沖 明梨(船津小)
三浦 愛莉(小立小)
古屋 玲(船津小)
堀内 迅(北中)

富士河口湖町誕生記念
子供の絵画・書道優秀作品展

富士河口湖町の誕生を記念し、子どもたちから募集した作品の中から優秀な絵画と書道の作品を新庁舎の町民ギャラリーで行っています。展示期間は、12月15日までです。で、お出かけください。



健康科学大学より

本年4月、河口湖町の皆様のご協力とご賛同を得て、無事に開学することが出来ました。この紙面を拝借し改めて深く感謝すると共に、大学の概要を紹介させていただきます。

学校法人

・設置者 学校法人 第一監野学院
理事長 小山 昭夫

法人の設置校

健康科学大学（富士河口湖町小立7187）
修紅短期大学
（岩手県一関市萩荘字竹際49 1）
一関修紅高等学校
（岩手県一関市東花王町6 1）

修紅短期大学附属幼稚園

（岩手県一関市東花王町26 1）

健康科学大学

・学長 折茂 肇（兼理事）
・学部長 井手 隆俊（兼評議員）
・事務局長 米倉 素彦（常務理事）
・学部・学科の構成
健康科学部

理学療法学科	定員	80名
作業療法学科	定員	80名
福祉心理学科		
社会福祉コース	定員	60名
精神保健福祉コース	定員	40名

今月より健康科学大学からの情報発信として、このコーナーに記事を掲載いたします。隔月ではありますが、町民の皆様との交流を深めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

健康科学大学とは

学長 折茂 肇

わが国は今や世界一の健康寿命を誇る長寿国となり、一般国民の健康に対する関心は、かつてない程高まっております。健康を維持するためには予防医学を振興し、自立機能を障害する体や心の病気を予防することが極めて重要であります。一方、高齢社会の到来により、脳卒中や骨折等の患者さんが増加し、これらによる自立機能障害を防止するためのリハビリテーションの重要性が注目されています。健康科学大学は、このような高齢社会のニーズに基づき生まれた新しい大学で、2003年4月に開校いたしました。

本学の目的とするところは健康を科学すると共に、国民の健康維持に貢献する専門職を育成し、世に送り出すことにあります。本学は理学療法学科、作業療法学科及び福祉心理学科の3学科からなる、大変ユニークな4年制の私立大学です。高度で幅広い教養を身につけると同時に、人の痛みを理解し、共感できる豊かな人間性を持った人を育成したいと考えています。

理学療法学科では、事故や病気などによって立つ、歩く、寝る、起きるなどの基本的な動作に障害を生じた人に対して、適切なリハビリテーションを実施できる理学療法士（国家資格）を育てる

と同時に、将来の理学療法士を教育する教員を世に送り出すことを目標としています。

作業療法学科では、身体や精神に障害を受けた人が家庭や学校や職場に復帰し自立して生活ができるように、さまざまな動作や作業を学習させ、その人らしく生きることができるようアドバイスを行う作業療法士（国家資格）を育成すると同時に、将来の作業療法士を教育する教員の育成を目標としています。

福祉心理学科では高齢者や障害を抱える人、あるいは精神的に不安定な人などがより良い生活を送るための、さまざまな支援を行う専門家を育成することを目標としており、「社会福祉コース」と「精神保健福祉コース」の2つのコースで構成されています。目標とする資格は社会福祉士（国家資格）、精神保健福祉士（国家資格）、社会福祉主事（任用資格）、児童指導員、各種カウンセラー（認定資格）です。

21世紀の医療においては、医師や看護師、薬剤師はもちろん、理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士などが、それぞれ対等な立場で横の連携を密にし、協力し合う医療体制が主流になっていきます。高齢社会を迎えたわが国において、本学の果たす役割は極めて大きなものとなるものと期待されています。



この町での ボランティア活動から 学んだこと

学生代表（健康科学大学新聞部）

私たちは健康科学大学の学生で、

医療・福祉の専門職を目指し全国各地から集まってきています。入学以来、多くの学生が大学周辺のボランティア活動に参加しています。将来、人と接する職業を目指している私たちにとって、大学の講義だけでなく、実際に外に出ていろいろな活動をすることは、とても貴重な体験です。まずは地元の方々とふれあいを大切にしたいと思い、さまざまなイベントに参加しています。

その中のひとつに、ふじざくら養護学校でのボランティアがあります。ここでは、生徒と近隣の学生ボランティアとが、軽スポーツや文化活動などを通じて共に楽しむことを目的として、月1回のペースで活動が行われています。今までにフットサルやリズム遊び、工作とさまざまな活動を一緒に行いました。その他に、アドバンス虹の会のボランティアにも参加しています。虹の会は、子供

たちが将来生まれ育った地域で働き、暮らしていける場所作りを目指しているそうです。

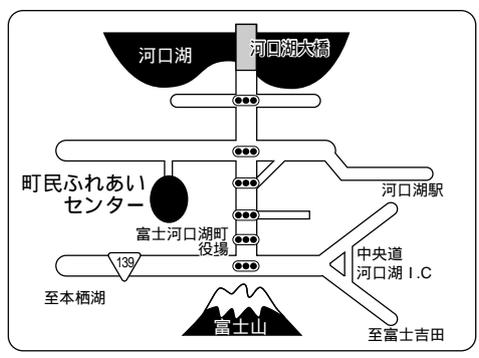
これらのボランティア活動からは学ぶことが沢山あります。まず印象的なのは、障害者の方やその家族のいきいきとした姿で、参加するたびに私たちの方が勇気づけられている。もうひとつはバリアフリーの重要さです。実際に介助を体験してみると、段差など環境面でのバリアがいたるところにあります。普段何気なく越える段差も、車椅子では大きな障害となることを知りました。また、障害者の方を受け入れることができる職場やケアを行える施設が少ないという現実も感じています。

ボランティアには初めて参加する学生が多く、御迷惑をお掛けすることも多いのですが、快く受け入れてくださる方々にとっても感謝しています。私たちはこれらの活動から学ぶことで、将来は障害をお持ちの方々にとって、少しでも役に立つ人間になりたいと思っています。今後さまざまな活動を通して地元の皆様と交流させて頂きたいと思っております。よろしく願い致します。

『富士河口湖町社会福祉協議会』が誕生

平成15年11月15日（土）に、『富士河口湖町』が誕生しました。それに伴い、河口湖町・勝山村・足和田村の各社会福祉協議会も合併し、平成15年12月1日に、『富士河口湖町社会福祉協議会』が設立しました。新町施行同様、河口湖・勝山・足和田の3社協が先行合併し、上九一色（精進、本栖及び富士ヶ嶺地区）は、甲府地域との合併協議を経て分村し、後に合併する予定です。そこで、3町村社協合併により、名称や所在地などが、次のとおり変更になりました。

- 【名称】.....社会福祉法人 富士河口湖町社会福祉協議会
- 【事務所位置】...〒401-0302
山梨県南都留郡富士河口湖町小立2487番地
富士河口湖町民ふれあいセンター内
(電話：0555-72-1430)
(ファクス 0555-72-3606)
- 【業務日時】.....月～金曜日（土、日、祝祭日は、お休み）
午前8時30分～12時
午後1時～5時15分



社会福祉協議会は、みんなが安心して暮すことができる地域社会を目指して活動している社会福祉法に明記された公共性を持つ民間の福祉団体です。住民の皆さんと共にまちづくりに向けて取り組んでいきますので、ご支援をよろしく願いします。